



思い出の商店街

【市長】 磯村さんは第一小学校、第一中学校の出身ですね。子供の頃はどこで遊んでいたんですか。
 【磯村】 父の店が沼津仲見世商店街にあった、そこでよく遊んでいましたね。
 【市長】 じゃあ、商店街のアイドルだったんでしょう？
 【磯村】 いや、めっちゃくちゃ迷惑な子供だったんじゃないですか(笑)。商店街の端から端まで、全力で走り回っていたので。商店街の人たちにはすごくかわいがってもらって、思い出深いですね。昔と比べちゃうと寂しいところもあるけど、若いクリエイターたちが商店街を盛り上げる活動をしているそうですね。
 【市長】 そうなんです。昔ながらのお店に加えて若い店主の個性あふれるお店も増えているし、市でも公共空間を活用する「OPEN NUMAZU」という取組をしています。商店街にベンチやストリートピアノを置いて、人が集う楽しい空間づくりをしています。
 【磯村】 あ、ベンチが置いてあるなって気になってたんですよ。
 【市長】 中心市街地は歩いてさらに楽しめる場所へ進化中です。磯村さんもぜひまちづくりに関わってくださいよ。
 【磯村】 え、まちづくりにまで入り込んでいいんですか!?
 【市長】 もちろん!

沼津にあふれる宝

【市長】 磯村さんは、第一中学校を卒業して沼津西高校に進学されたね。
 【磯村】 そうです。高校時代はよく千本浜公園で遊びました。懐かしいなあ。友達と自転車で防波堤伝いに富士まで行ってくる小さな旅もしましたよ。
 【市長】 千本松原と海を見ながら富士山に向かって走るの、気持ちいいですね。市でも、こうしたロケーションを活かしたサイクルツーリズムや、練習場「F3BASE」を拠点にしたフェンシングなど「スポーツのまちづくり」にも取り組んでいます。香陵アリーナを整備し、日常的なスポーツの場としてはもちろん、プロスポーツの観戦も身近になりました。
 【磯村】 僕は高校時代にバスケットボール部だったので、スポーツを絡めたまちづくりも応援したいです。僕の仕事で言えば、ロケ地としての沼津もアピールしたいですね。
 【市長】 ありがとうございます。沼津には里山や漁港、昭和の雰囲気を残した商店街などあらゆる風景があります。
 【磯村】 「沼津には素敵な風景がたくさんあって、撮影できる幅が広がるし、東京から日帰りできるのがいい」という評判を僕も聞きますよ。これはもつと売りにしたいですね。僕も沼津を広く知ってもらおうと話題に出すのですが、僕自身ももっと沼津のことを知

- 【写真】
- 1・3. 磯村さんが子供の頃遊んだ沼津仲見世商店街
 - 2・4. 沼津駅周辺をヒト中心の空間へと再編する取組「OPEN NUMAZU」
 5. 風光明媚な景色を楽しみながらのサイクリング
 6. プロスポーツの試合も観戦できる香陵アリーナ
 7. パリ2024オリンピックでも注目を集めたフェンシングのまち・沼津
 8. 若山牧水をはじめ数々の文人に愛されたぬまづの宝、千本松原
 9. 日本で最も深い駿河湾の恵みもぬまづの宝、戸田ならではの味覚の深海魚
 10. 愛鷹山麓を中心に栽培される緑濃い沼津茶もぬまづの宝
 11. 明治期に沼津の教育・産業に大きな功績を残した江原素六

りたいなあと思って思っています。
 【市長】 「ぬまづの宝100選」をご存知ですか。沼津の優れた自然や歴史、文化などを集めた100の地域資源で、市制100周年に改選したんです。
 【磯村】 へえ、これは燦々ぬまづ大使としても知っておかないと。ああ、井上靖さん、若山牧水さんも選ばれているんですね。
 【市長】 多くの文人墨客に関わりがあるのも、恵まれた自然環境が創作意欲をかき立てるからでしょう。沼津西高校の創立者、江原素六先生ももちろん選ばれています。学校としても卒業生の磯村さんが大活躍しているのは誇りでしょうね。
 【磯村】 この対談の撮影で14年ぶりに母校を訪れました。校舎は懐かしかったです。後輩たちはみんな元気がよく嬉しかったなあ。母校に限らず、沼津の若者から俳優を目指す人が出てきてほしいですね。本気でやりたい!という子は何でも相談してください。まず、沼津演劇研究所を紹介しますよ(笑)。
 【市長】 沼津出身の俳優の登竜門になりますね。江原素六先生が大切にしていた、「青年(せいねん)即(すなわ)ち未来」という言葉がありますよ。若者は未来そのもの。磯村さんも年齢の近い先輩として、未来を担う子供たちを見守ってください。
 【磯村】 任せてください!僕がたくさん大人の愛情を受けてきたので、次は自分が次の世代に渡していく番ですね。